

Behringer シーケンサー クイックガイド

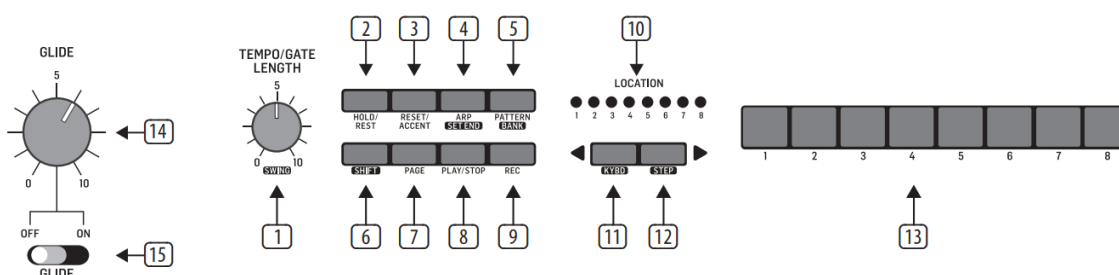
BEHRNIGER のシンセサイザーに搭載されているシーケンサーの使い方を簡単にご説明いたします。(モデルによって若干異なる場合がございます。QSG またはマニュアルの補足としてご参考ください。)

32 ステップシーケンサーとなっており、最大 64 パターン(8 バンク×8 パターン)を保存することが出来ます。

目次

基本コントロール・・・2P
単純なパターンのレコーディング・・・6P
パターンを再生する・・・8P
パターンを保存する・・・10P
保存したパターンを呼び出す・・・11P
ライブパフォーマンス・・・12P
パターンを編集する・・・13P
ステップモードでパターンを作成する・・・14P
ステップモードで作成したパターンを保存する・・・16P
アルペジエーター・・・17P

～基本コントロールについて～



- ① **TEMPO / GATE LENGTH** - このノブはシーケンサーとアルペジオのテンポをコントロールします。ステップ編集中は GATE の長さもコントロールします。SHIFT を押したまま動かすと SWING を調整できます。
- ② **HOLD / REST** - パターン再生中に、現在のステップをホールドすることができます。ステップの編集中は、休符を入力できます。
- ③ **RESET / ACCENT** - 再生中にパターンをステップ 1 に戻すことができます。ステップの編集中は、ステップにアクセントを付けることができます。
- ④ **ARP (SET END)** - ARP モードでは、鍵盤を弾くとアルペジオが演奏されます。シーケンサーモードでは、SHIFT と SET END を同時に押したながら STEP スイッチを押すと、そのステップが現在のパターンの最後になります。
- ⑤ **PATTERN (BANK)** - このスイッチは、現在のパターンまたはバンク番号にアクセスするために使用されます。

PATTERN : PATTERN を押すと、8 つの LOCATION LED のうちの 1 つが現在のパターン番号 (1 から 8 まで) を表示します。別のパターン番号に変更するには、

PATTERN スイッチを押しながら STEP スイッチ (1~8) を押すか、KYBD と STEP ボタンで他のパターン番号を選択してください。

BANK : SHIFT と PATTERN を押すと、8 つの LOCATION LED のうちの 1 つが現在のバンク番号 (1 から 8 まで) を表示します。別のバンク番号に変更するには、SHIFT と BANK の両方を押したまま STEP スイッチ (1~8) を押すか、KYBD と STEP ボタンで他のパターン番号を選択してください。

⑥ **SHIFT** - SET END、BANK、SWING、KYDB、STEP など、他のシーケンサーコントロールのいくつかの二次機能にアクセスするために使用されます。基本的には SHIFT と他のスイッチを同時に押して使用します。例えば SHIFT + PATTERN (BANK) は現在の BANK 番号を LOCATOR LED に表示します。

⑦ **PAGE** - 各パターンの長さは最大 32 ステップとなっており、PAGE ボタンで 8 ステップの 4 ページを移動できます。LOCATION LED 1~4 は、どのページにいるのかを示します。パターンが再生されている間、STEP LED は現在のページで使用中のステップを表示します。

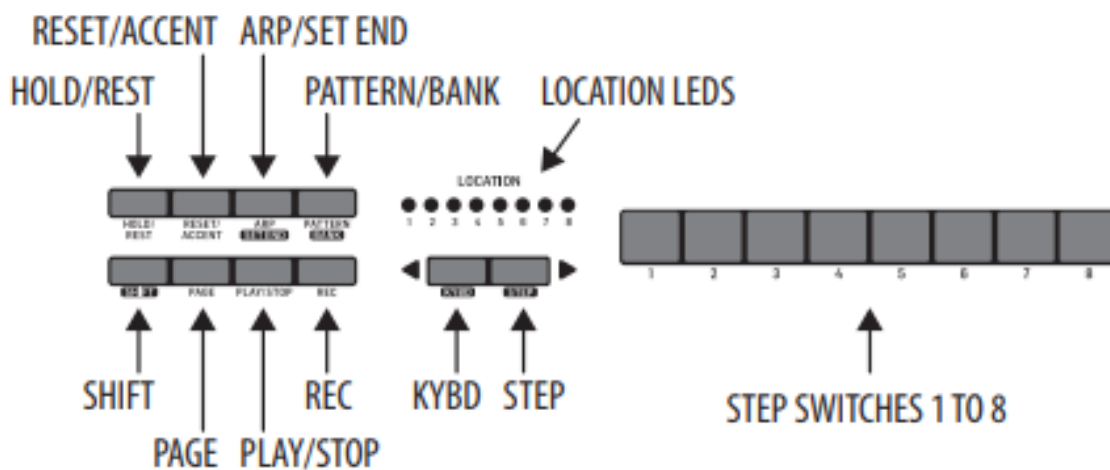
⑧ **PLAY / STOP** - パターンの再生を開始または停止します。SHIFT が同時に押されている場合は、パターンの保存が出来ます。※「~パターンを保存する~」の手順をご参考ください。

- ⑨ **REC** - このボタンを押すと新しいパターンの録音が始まります。これは、パターンの保存手順中に SHIFT と同時に押すことで保存を完了できます。
- ⑩ **LOCATION**- これらの COLOR LED は現在の PATTERN 番号、現在の BANK 番号、現在の PAGE、GATE LENGTH などのさまざまな詳細を表示します。
- ⑪ **KYBD** - SHIFT + KYBD を同時に押すとシーケンサーがキーボードモードに変更されます。
- ⑫ **STEP** - SHIFT + STEP を同時に押すとシーケンサーが STEP モードに変更されます。
- ⑬ **STEP SWITCHES**- これらのスイッチで個々のパターンステップの表示と選択、パターン番号の選択、パターンバンクの選択ができます。パターンの録音中はアクティブなステップが赤で点灯し、現在のステップは赤く点滅します。
- ⑭ **GLIDE** - ステップ編集に、このノブを使用することで現在のステップを最大 4 つに分割してラチェットを追加できます。SHIFT を押しながらノブを回すと、現在のステップが LOCATOR LED (黄色) 1~4 で示されるパート数に分割されます。ラチェットを機能させるために GLIDE スイッチ (15) をオンにする必要はありません。

以下の詳細は、シーケンサのいくつかの基本動作を示しています。

複雑なパターンを試す前に、まず2または3ステップの短いパターンを作成していただき、Gate Length、Ratchet、Accent、Glide、Rest、Tie、Swingなどの機能をそれぞれご確認ください。

上記を確認する際、シンセサイザーの設定はモジュレーションなどの掛かっていないシングルソースをお勧めいたします。



～単純なパターンのレコーディング～

1. SHIFT と KYBD ボタンを押してキーボードモードを選択します。
2. SHIFT、RESET、PATTERN を同時に押して現在録音されているパターンを初期化します。現在のパターンのステップはすべて削除されます。
3. REC を押すと、STEP 1 スイッチの LED が点滅を始めます。点滅しているステップが現在追加および編集しようとしているステップです。（REC を選択できない場合は、手順 1 を繰り返してください。）
4. キーボードのノートを押すか、下に示すように休符を押します (5)。
5. ノートの代わりに休符を入力するには、HOLD / REST スイッチを押します。Rest (休符) が追加されると、LOCATOR LED 8 が点灯します。
6. さらにノートを押します。新しいノートまたは休符が追加されると、次の STEP スイッチの LED が点滅します。
7. ステップのゲートレンジは TEMPO / GATE LENGTH コントロールで調整できます。LOCATOR LED が赤く点灯し、ゲートの長さが 1 から 8 まで表示されます。8 に設定されている場合は、次のステップと連動します。次のステップが同じノートである場合、2 つのステップが結び付けられているので、これはより長いノートを作成します。
8. 「ラチェット」を作成するには、SHIFT を押しながら GLIDE コントロールを回しま

す。LOCATOR LED は 1 から 4 までのラチェット数を黄色で表示します。たとえば、4 に設定すると、指定したステップは 4 つに分割され、ステップ内で連続再生が出来ます。ラチェットをかけると、LOCATION LED 6 が点灯します。

9.ステップで GLIDE をオンにするには、GLIDE コントロールを上げます。GLIDE を切るには、GLIDE ツマミを下げてください。GLIDE がオンになっていると、LOCATION LED 5 が点灯します。

10. Brightness や Accent を上げるには、RESET / ACCENT スイッチを押します。Accent を付けると、LOCATION LED 7 が点灯します。

11.パターンの作成が終わったら REC を押します。まだステップやパターンは保存されていませんが、再生することはできます。

注意：本機の電源を切ったり、新しいパターンを作成したりしないでください。現在保存されていないパターンは失われます

～パターンを再生する～

1. PLAY / STOP を押して現在のパターンを聴きます。
2. パターンを保存していない場合は、上記のレコーディング手順を繰り返して新しいパターンを録音します。 または、PATTERN と RESET を押して現在保存されているパターンを呼び出します。
3. パターンを保存する場合は、下記の「パターンを保存する」の手順に従ってください。 そうしないと、新しいパターンが開始されたり、電源が切られたりした場合に本体メモリに残らず、削除されます。
4. パターンの SWING を作成するには、SHIFT を押しながら TEMPO / GATE LENGTH コントロールを調節します。 中央の位置では、スイングは適用されません。

ツマミを左に回しきるとオフビートのみが再生されます。

右に回しきると、オンビートだけが演奏されます。

パターンを保存すると、パターンの SWING 設定も同時に保存されます。
5. パターン演奏中の動作：
 - ・現在のステップを保留するには、HOLD / REST を押します。
 - ・RESET / ACCENT を押すと手順 1 に戻ります。
 - ・SHIFT と任意の STEP を押すと、Gate Length、Rest、Accent、Ratchet、

Glide を編集できますが、Note は編集できません。

- ・ もう一度 SHIFT と同じ STEP を押すと、ステップ編集を終了します。

(再生が一時停止されている場合は、同じ操作でノートを編集することもできます。)

- ・ PAGE を押すと、1 から 4 のパターンページが表示されます。
- ・ 自動でパターンを移動する設定に戻るには、Shift キーと PAGE キーを押します。
- ・ SHIFT キーと ARP / SETEND キーと STEP キーを押してシーケンスの終了ステップを変更します。
- ・ 再生/一時停止するには PLAY / STOP を押します。

～パターンを保存する～

1. SHIFT + PLAY / STOP を約 2 秒間押し続けると、現在のパターンナンバーの LOCATOR LED がゆっくり緑色に点滅し始めます。
2. 保存したいパターン番号の STEP スイッチ(1～8)を押します。
3. PATTERN ボタンを押しながら、保存したいバンク番号の STEP スイッチ(1～8)を押します。
4. SHIFT + REC を押すとパターンが保存され、SAVE モードを終了します。

～保存したパターンを呼び出す～

1. PATTERN を長押しします。 LOCATION LED の光っているところが現在のパターン番号です。

KYBD または STEP ボタンを使ってパターン 1 から 8 を移動するか、STEP スイッチ 1～8 を押し、直接パターン番号を選択します。

パターンの再生中にもこれを実行できます。
2. SHIFT と PATTERN を長押しします。 LOCATION LED の光っているところが現在のバンク番号です。

KYBD または STEP ボタンを使ってバンク 1～8 を移動するか、STEP スイッチ 1～8 を押し、直接バンク番号を選択します。

パターンの演奏中にも操作できます。
3. PLAY / STOP を押して現在のパターンを再生します。
- 4.再生中は LOCATION LED に現在のパターンのページ（1～4）が表示され、STEP スイッチの LED に移動中のステップが表示されます。

～ライブパフォーマンス～

再生中は次のような調整ができます。(パターンと一緒に保存されません。)

1. パターンのすべてのステップにラチェットを追加するには、SHIFT を押しながら

GLIDE コントロールを調整します。

2. パターンに SWING を追加するには、SHIFT を押しながら TEMPO コントロー

ルを調整します。

3. パターンをミュートするには、SHIFT + HOLD / REST を押します。

4. すべてのステップにアクセントを付けるには、SHIFT + RESET / ACCENT を押

します。

5. オクターブを変更するには TRANSPOSE スイッチを使用します。

～パターンを編集する～

1. キーボードモードでパターンを編集するには、REC を押します。STEP スイッチの LED が点灯します。
2. PAGE を押して、編集するパターンのページを 1 から 4 の中から選択します。
緑色の LOCATION LED 1～4 に現在のページが表示されます。
3. SHIFT キーと編集したいSTEP スイッチを押します。新しい音符または休符を入力します。同時にラチェットやグライドなどの他のパラメータも調整できます。
4. SHIFT キーを押しながら編集する次のSTEP スイッチを押します。（ステップは自動的に次のステップに移動しませんので、次に編集するステップをお好みに選択できます。）
5. REC を押して編集モードを終了します。
6. PLAY / STOP を押すと、編集したパターンを聞くことができます。
7. 変更を保存する場合は上記の「～パターンを保存する～」の手順でパターンを保存してください。

～ステップモードでパターンを作成する～

1. SHIFT と STEP を押してシーケンサーを STEP モードに変更します。点滅している LOCATION LED が緑色（キーボードモード）から黄色（ステップモード）に変わります。
2. SHIFT、RESET、PATTERN を同時に押して現在のパターンを初期化します。現在のパターンの前のステップはすべて削除されます。（現在のパターンを使用したい場合は、初期化しないでください。）
3. PAGE を押して希望のパターンページにを選択します。次に SET END と STEP スイッチを押してパターンの長さを選択します。たとえば、1 ページにいるときに SET END + STEP 8 を押すと、パターンの長さは 8 ステップになります。

PAGE を押して 4 ページ目に移動し、SET END + STEP 8 を押すと、パターンは 32 ステップの長さになります（4 ページ × 8 ステップ）。
4. 希望の SET END を選択すると、一番最後のステップまでの全 STEP スイッチの LED が赤く点灯します。
5. SHIFT キーと任意の STEP スイッチを同時に押します。押した STEP が点滅し始め、編集中のステップであることを示します。ノート、休符、またはキーボードモードで、ラチェット、グライド、アクセント、ゲート長の変更など、様々な機能を追加できます。

6. SHIFT を押しながら編集中の STEP スイッチを押すと、そのステップの編集が終了します。編集が終了すると点滅が止まります。
- 7.必要なステップがすべて編集できるまで、上記のステップ 5 と 6 を繰り返します。
8. PLAY / STOP を押してパターンを確認します。
- 9.演奏中は上記の「～ライブパフォーマンス～」の手順で示すように一時的な調整を追加できます。

～ステップモードで作成したパターンを保存する～

1. STEP モードで作成したパターンは、STEP モード内で保存できません。
- 2.パターンを保存したい場合は、SHIFT + <KYBD を押してキーボードモードに切り替えます。
- 3.注意：この時点で本機の電源を切ったり、新しいパターンを作成したりしないでください。現在保存されていないパターンが失われます。
- 4.上記のキーボードモードの「～パターンを保存する～」の手順に従いパターンを保存します。

～アルペジエーター～

アルペジエーターを使用するには、シーケンサー部のARPスイッチを押します

アルペジエーターにはモードが2つ存在します。

- 1.Normal mode:ARP/SET ENDボタンを1度押すとアルペジエーターがオンになります。（※鍵盤またはノートを離すとアルペジエーターがストップします）。
- 2.Hold mode:ARP/SET ENDボタン2度押し(ダブルタップ)するとアルペジエーターをプレイおよびホールドするモードになります。（鍵盤またはノートを離してもアルペジエーターが持続します）。

アルペジエーターRateは TEMPO/GATE LENGTH ツマミで設定します。

アルペジエーターの演奏順には 8 種類あり、アルペジエーターのプレイ中に <KYBD または STEP> のいずれかを押すことで変更できます。LOCATION LED には現在の順番、

1~8 が表示されます：

1. UP 1 (UP 1 Octave)
2. DOWN 1 (DOWN 1 Octave)
3. UP&DOWN
4. RANDOM
5. UP 2 (UP 2 Octaves)
6. DOWN 2 (DOWN 2 Octaves)
7. UP 3 (UP 3 Octaves)
8. DOWN 3 (DOWN 3 Octaves)

MUSIC トライブ・サービス JP 株式会社

〒101-0032

東京都千代田区岩本町 3-5-12 ユニゾ岩本町 3 丁目ビル南館 7 階

TEL : 03-5821-9781

MAIL : care@musictribe.com